

バッテリー充電中に、よくあるご質問

Q1：バッテリーの流れる点滅が、車体や充電器から外した状態でも、ずっと続いたままですが、危険性はあるのでしょうか。

A：バッテリーの自己点検機能により、これ以上充電をしないよう判断したお知らせサインのため危険性はございません

充電後も、流れる点滅は、ある程度残量を使い切るまでは表示し続ける仕様となっております。

Q2：充電中にバッテリーや充電器が熱くなるのですが、大丈夫でしょうか？

A：熱くなるのは仕様になります。

充電器は充電開始から時間が経過するにつれて徐々に温度が上昇します。ピーク時には60°C前後(手で触れる温度)まで上昇するため、風通しが良く、直射日光の当たらない場所、高温の環境を避けて充電を行ってください。

特に夏場は周辺の気温が高くなるため、熱を放熱しにくくなることがあります。充電環境にご注意ください。

バッテリーチャージャーが充電開始時に熱くなるのは、充電時に内部で電流が流れ、電気抵抗によって熱が発生するため、正常な現象です。特に急速充電時や、充電が進むにつれて発熱が強くなることがあります。ただし、手で触れられないほど異常に熱くなる場合は、充電を中止し、点検を依頼してください。

詳細

1. 充電時の発熱は正常=バッテリーチャージャーは、充電中にバッテリーに電気を送り込むため、その過程で熱が発生します。
2. これは、電気抵抗によるもので
 - ①特に急速充電や、②充電残量が少ない状態から充電を開始した場合に顕著になります。
3. 急速充電は発熱しやすい=急速充電は、より多くの電力をバッテリーに供給するため、より多くの熱が発生します。
4. 充電が進むと発熱が強くなる=充電が満充電に近づくにつれて、過充電を防ぐための制御機能が働き、それが熱を発生させることもあります。
5. 異常な発熱に注意=通常の発熱は問題ありませんが、異常に熱くなる場合は、充電器やバッテリーの故障、または充電ケーブルの不具合などが考えられます。

対処法

- ①充電中は、風通しの良い場所で充電し、直射日光や高温になる場所を避けてください。
- ②充電しながらスマホを使用する「ながら充電」は、バッテリーに負荷をかけ、発熱を助長するため避けてください。
- ③充電器やバッテリーが異常に熱くなる場合は、充電を中止し、購入店に点検を依頼してください。

充電時の発熱は、バッテリーチャージャーの正常な動作の一部です。しかし、異常に熱くなる場合は、上記の対処法を参考に、安全に充電を行ってください。